

## 前期基本計画 平成28年度 施策方針評価書

政 策：01 人のつながりによって市民が行動しているまちを目指します

基本施策：03 環境への意識づくり

施 策：01 住民協働による環境保全

<b>施策担当職・氏名</b>	環境課総括主査 岩城裕一
-----------------	--------------

### 1. 施策の平成28年度までの実現状況を明らかにする

#### (1) 施策の内容

	<p>本市の美しい自然は、市民ばかりでなく、すべての人々にとって大切なものです。この恵まれた自然環境と生活環境を守り、維持するため、環境ボランティアや地域活動を支援し、環境保全活動の活性化を促すことで、住民、事業者、市が協働・連携し、環境保全に関わる施策を積極的に展開します。また、住民団体相互の連携と交流を促進するためのネットワークづくりに取り組み、環境保全活動を行っている環境団体や地域団体等と協力して環境イベントなどの開催を行って参ります。</p>	
--	---	--

#### (2) 施策目標値の達成状況

No	この施策に関わる施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	進捗率(%)	
1	暮らし 豊かな自然がたくさん残っていると思う人の割合 単位 %	79.2	79.5	80	80.5	81	81.5	D	
			77.3	76.7	-	-	-	△108.7	
2	幸福 定期的に自然と親しむ機会を持っている人の割合 単位 %	47.9	48	50	52	54	56	D	
			45.9	45.4	-	-	-	△30.9	
	単位								

#### (3) 施策を構成する事務事業及び目標値の達成状況

No	事務事業名 事務事業目標指標	推移	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
1	2198 狂犬病予防事業 狂犬病予防注射接種率 単位 %	目標値	85	85	85	85.5	86	86.5
		実績	88.05	87.7	85.71	86.67	-	-
2	2264 クリーンたきざわ運動推進事業 地域清掃実施回数 単位 回	目標値	150	120	114	116	118	120
		実績	126	133	117	106	-	-
3	2920 環境基本計画推進事業 たきざわ環境パートナー会議等開催回数（総会、委員会等） 単位 回	目標値	20	20	20	20	20	20
		実績	22	45	62	60	-	-
4	2967 衛生指導推進事業 定期報告書提出枚数 単位 枚	目標値	360	360	360	360	360	360
		実績	267	299	329	311	-	-
5	2982 環境放射線監視事業 放射線監視委員会の開催回数 単位 回／年	目標値	2	2	2	1	1	1
		実績	2	2	2	2	-	-

## 前期基本計画 平成28年度 施策方針評価書

政 策 : 01 人のつながりによって市民が行動しているまちを目指します

基本施策 : 03 環境への意識づくり

施 策 : 01 住民協働による環境保全

施策担当職・氏名 環境課総括主査 岩城裕一

## 2. 施策の実現に向けての平成28年度までの取り組み状況を分析する

## (1) 施策目標の達成（実現）に向けた基本計画期間内の取り組みと方針についての達成（実現）状況

C	一部達成した
<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境に配慮した環境づくりの取組を行いました。</li> <li>・狂犬病予防のための集合注射を支援する形で推進しました。</li> <li>・衛生指導員の受諾を頂き、環境保全活動や地域清掃に市民の皆さんが主体的に取組める体制構築を推進しました。</li> </ul>	

## (2) 基本計画内の取り組みと方針のうち、平成28年度の重点課題の達成（実現）状況

C	一部達成した
<p>【重点課題】 自然環境を大切に、豊かな自然を次世代に引き継ぐ必要があります。</p> <p>【重点課題に対応した達成状況】 環境問題に対する取り組みに関心を策持ってもらい、意識高揚を図っていくため衛生指導員体制の構築や環境保全に対する一支援を行うなどの取組により達成しました。</p>	

## 3. 施策の実現に向けての平成28年度実施後での変化を認識する

## (1) 施策の実現に影響する社会環境変化

A	社会環境変化なし
当施策に影響する社会環境変化はありません。	

## (2) 基本施策との関連性から施策の見直し

A	必要なし
政策達成のため、引き続き同一内容の施策が必要であるため、見直しの必要はありません。	

## 4. 施策の実現に向けての今後の取り組みと方向性を明らかにする

## (1) 平成30年度方針策定に際し、今後の方向性や引継課題

A	課題なし
<p>【今後の方向性】 引き続き豊かな自然を次世代に引き継ぐため、より一層の環境保全に向け環境に配慮した環境づくりに関する取組を進めます。</p> <p>【引継課題】 ・環境ボランティアや地域リーダーの育成、環境保全の支援に関すること。 ・環境保全活動や地域清掃に市民の皆さんが主体的に取組める体制構築として衛生指導員に関すること。</p>	

